

令和5年度 活動報告

国語教育研究会 事務局 塩尻西部中学校 井出宏幸

組織について

会長 大野 征二 校長先生（塩尻西小学校）

幹事 小林かおる 教頭先生（両小野中学校）

加藤 敦子 教頭先生（聖南中学校）

会員 20名（小学校4名、中学校15名、義務教育学校1名）

事務局 井出 宏幸（塩尻西部中学校）

年間活動計画

- (1) 教科等研究会発足会
- (2) 自主研修の実施
- (3) 長野県国語学会夏期研修会への参加
- (4) 日本国語教育学会長野地区研究集会
- (5) 松本支部との共催授業研究会の開催
- (6) 学会誌「信州国語教育」94号 「会報」84号の発行協力

活動報告1

○自主研修について

期日 7月27日(木)

会場 塩尻西部中学校 図書館

内容 文学研究科 堀井正子さんによる講演会

テーマ:宮沢賢治「銀河鉄道の夜」について

参加者 17名 (会員16名 会員以外1名)

講演会の様子



宮沢賢治と二歳年下の妹トシ。

賢治の妹のトシに対する特別な思い入れが分かる詩

永訣の朝、無声慟哭・・・

トシをなくして樺太鉄道に乗り傷心旅行に出かける賢治。

トシの死から二年後、銀河鉄道の夜が出版される。

講演会後の感想

- 堀井先生の深い読みに感銘を受けた。
- 「銀河鉄道の夜」は読んだことがあったけれど、賢治とトシの関係や、賢治のトシへの思いの強さを知って、改めて「銀河鉄道の夜」を読み返したくなった。
- 堀井先生の「私的な読み」という言葉が印象に残った。授業においても、まず「個の読み」を大切にしたい指導を心がけたい。
- 来年度もぜひ、お話をお聞きしたい。

反省

- 講師の先生に長野市よりお越しいただいたが、日程の調整がうまくいかず、あわただしい日程になってしまった。講師の選定と打ち合わせをもう少し早い時期から進めたい。
- 貴重な講演会だったので、もう少し会全体の時間を長く設定し、質問の時間や、感想を交流する時間を設けてもよかった。
- 図書館での講演会も趣があってよかったが、机や椅子の配置上、横向きで話を聞くような感じになってしまったので、前向きでしっかりと話を聞けるような会場にした方がよかった。

活動報告2

松本支部との共催授業研究会

期日 11月20日(月)

会場 塩尻西部中学校

講師 信州大学教育学部准教授 八木 雄一郎 先生

内容 研究授業 1年3組 授業者 井出宏幸

「話題や展開を捉えて話し合おう～グループディスカッションをする～」

活動報告2

内容 授業研究会

講演会

講師: 信州大学教育学部准教授 八木雄一郎先生

演題: 国語科を通して培われる「資質・能力」とは～
「情報の扱い方」の扱い方～

参加者 18名(塩筑支部 7名、松本支部 11名)

研究授業

授業展開

導入 全体

学習問題 **考えが深まる**話し合いにするにはどうしたらよいだろうか

話し合いのテーマ「合唱のもつ力とは」

考えが深まる話し合いにするために、参加する立場ごとに、役割と意識したいことの確認

発言の仕方についてのモデルの提示

学習課題 お互いの意見の**共通点**や**相違点**を意識しながら話し合おう

研究授業

授業展開

展開 グループ

グループごとに話し合いを行う。

ロイロノート(共有ノート)を活用し、意見を整理してまとめる。



研究授業

授業展開

まとめ 全体・個人

グループごとのまとめの発表と振り返り

電子黒板にロイロノートの画面を映し、グループのまとめを発表する。

1時間の振り返りをする。



授業研究会

全体で授業のポイントについて協議

話題になったこと

- ・ゴールを明確にする必要性
- ・手立ての工夫
- ・「深まる」ということについて



講演会

・授業についてのご指導

講演会

演題

国語科を通して培われる「資質・能力」とは
～「情報の扱い方」の扱い方～



講演会

演習形式で「情報の扱い方」について学ぶ

教科書教材である「モアイは語る」と

教科書教材ではない

「イースター島にはなぜ森林がないのか」

を読み比べ、どちらが説得力があるかを話し合う。

何を観点にしたかを大切にする



反省

- ・松本からも多くの先生方に参加いただき、有意義な会となった。
- ・講師の八木先生のご指導や講演から多くのことを学ぶことができた。
- ・研究会としては計画不足で会全体の研究を深めることができなかった。
- ・準備が遅くなり、役割分担もあいまいで参加者の先生方にご迷惑をおかけしてしまうことがあった。

成果及び来年度に向けての課題等

成果

- ・自主研修では、これまで行ってきた県の夏期研修会のテキストの読み合わせをやめ、講演会にした。会員以外の先生にもご参加いただき、参加された先生方から有意義な会になったという反省を多くいただくことができた。
- ・松本支部との共催の授業研究会では多くの先生方に参加していただき、日頃の授業改善につながる多くのご意見をいただくことができ、その後の講演会では演習を交えた分かりやすい講演で役立つ情報を多く知ることができた。

成果及び来年度に向けての課題等

課題

- ・会員の比率が中学校の先生方に対して、小学校の先生方の割合が少ない。小学校の先生方にとって敷居の高いイメージがあるのではないか。
 - ・自主研修、授業研究会ともに事務局と会長先生の話し合いで内容を決定してしまい、他の会員の先生方の意向をうまく聞き取ることができなかった。
- 会員の先生方の負担を増やさず、ニーズにあった内容にしていく工夫が必要